

[学習会]

風力発電ゾーニングへの 市民参加



チュウヒ
川崎正大氏写真提供

市民が自らデータを取り、ゾーニングマップに反映させるには何が
必要でしょうか。鳥類データを例に、ゾーニングマップの効果的な
活用のための市民参加を考えます。



ハイタカ
長谷部真氏写真提供

風力発電施設の影響が、どの地域でより大きく、どの地域で
は比較的に軽微なのか。それを評価して場所ごとに区分ける
のが「ゾーニング」です。しかし全ての地域を調査すること
はできないため、既存の情報から推定するしかありません。
市民が持っているデータを利用すれば、さらに精度の高いゾ
ーニングにつながります。民間情報を活かすには、どう調査
し記録をとればよいか、そしてどのように情報を提供すれば
よいか、市民参加のあり方を考えます。

◆ 日時： 2019年5月26日（日）
13時30分～15時30分

◆ 場所： 石狩市学び交流センター
第1研修室
(石狩市花川北 3-3-1
☎0133-74-8889)



チュウヒと風車 長谷部真氏写真提供

◆ 講師： 長谷川 理 氏
(NPO 法人 EnVision 環境保全事務所)

◆ 費用： 300円（資料代他）

主催・問い合わせ：石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会
安田 (090-6211-1602)

<http://windturbine.lbcc-alumni.jp/index.shtml>